

# 西廻り幹線道路建設促進 運動を強化すべき

## 町長 期成同盟会に対し、継続的かつ強力な支援を行っていく

平成31年からの県の新たな道路計画に向け、長井白鷹間西廻り幹線道路実現に対応、町の今後の対応を問う

県への働きかけを強化すべきでは

**問** 県の新たな道路計画策定に向けて、関係機関への働きかけを強化すべきだが、町の取り組み方針は。

**町長** 重要な路線と認識し、要望活動を行ってきた。早期着工に向けた取り組みを加速させるため、建設促進期成同盟会に対し、継続的かつ強力な支援を行っていく。

高速道路30分圏域から外れているが

**問** 運転をするうえで、高速道路に30分で上がれない町であることを強調すべきでは。

**町長** 周辺の道路整備の状況を見ながら、どうしたら高速道路に早くたどり着けるかを把握した上で、次の手を打っていく必要があると認識している。



佐々木誠司議員

期成同盟会との関わりは

**問** 川西地域の民間で組織する、建設促進期成同盟会との関わりとして、具体的な活動は。

**建設水道課長** 同盟会が全町組織に拡充される検討が進んでおり、事務局機能を町が担い、新たな看板設置やチラシ配布、長井市組織との情報交換などに対して、今後も支援を継続していく。

町が中心となるべきでは

**問** 民間主体では大掛かりな運動を展開する上で苦慮する。町長が中心となり、行政が主体となつて進めるべきでは。

**町長** 民の力があってここまで来れたと思う。支援を継続しながら、民間としての組織体の中で進めて

いただくよう取り組んでいく。

長井市との連携は

**問** 長井市とはどのような形で関わっていくのか。

**町長** 長井市には複数の組織体があり、動向を見定めながら歩調を合わせる必要がある。

両市町とも、将来的には同盟会組織を一本化したいという考えを共有している。地域の思いを一つにして、事業の採択、具現化をはかっていく。



この先は・・・（鮎貝駅前交差点）



県の事業採択に向けての働きかけは、今後2年間で勝負時である。

長井市と連携しながら、町を中心として、期成同盟会での思いを尊重する形で、町民と行政、そして議会が一体となった、強力かつ活発な運動が展開されることを望む。